報道関係各位

2026 年 11 月 13 日

大和ハウスベンチャーズ株式会社
東京都千代田区飯田橋 3 丁目 13-1
代表取締役社長　鈴木　哲雄

無下剤バーチャル内視鏡検査システムを開発

大腸がんスクリーニング AI 検査を提供する「Boston Medical Sciences」に出資

大和ハウスグループの大和ハウスベンチャーズ株式会社（本社：東京都千代田区、社長：鈴木哲雄、以下「大和ハウスベンチャーズ」）は、2026 年 11 月 13 日、大和ハウスグループ投資事業有限責任組合※1 （以下「“将来の夢”ファンド」）を通じて、Boston Medical Sciences（ボストン・メディカル・サイエンシーズ）株式会社（本社：東京都中央区、代表：岡本 将輝、以下「Boston Medical Sciences」）へ出資しました。

※1.大和ハウスベンチャーズが運営するコーポレートベンチャーキャピタルファンド

Boston Medical Sciences は、「誰一人、 大腸がんで亡くならない世界へ」という理念を掲げ、非侵襲的※2 大腸がんスクリーニング AI システムの開発と臨床展開を行っています。大腸がんは、国内がん種別の罹患数と死亡数ともに上位を占める一方で、早期発見と早期医療介入により死亡リスクの低減が期待できる疾患です。しかし、大腸がんの精密検査として行われる内視鏡検査では、検査前に多量の下剤を服用する必要があることに加え、内視鏡の挿入や検査に要する時間などが、受検者の身体的・心理的な負担となります。こうした負担が精密検査の受検をためらう一因となっており、大腸がんの早期発見を妨げる要因の一つとなっています。

Boston Medical Sciences は、検査に伴う身体的・心理的な負担を軽減し、より多くの方が精密検査を受けやすい環境の実現を目指し AI を活用した次世代大腸 CT 検査技術の研究開発に取り組み、仮想的腸管洗浄や大腸ポリープ検出を支援する独自アルゴリズムなどのコア技術を統合した検査システム「無下剤バーチャル内視鏡®」の開発を進めてきました。本検査システムは、厚生労働省の「プログラム医療機器に係る優先的な審査等の対象品目」に指定され、国内治験を完了しています。また、グローバル展開の足掛かりとして、米国で 2026 年 5 月に FDA の Breakthrough Device Designation を受ける※3 など、海外での事業化に向けた取り組みも進めています。

大和ハウスグループは、本出資を通じて Boston Medical Sciences が掲げる「誰一人、大腸がんで亡くならない世界」という目標を支援し、世界の人々の健康な暮らしへの貢献を進めていきます。

※2. 皮膚を切らない、針を刺さない、体内に器具を入れないなど、身体に直接的な損傷を与えないこと。
※3. この指定は承認を意味するものではありません。本技術は開発中であり、国内外とも未承認です。

■“将来の夢”ファンド（正式名：大和ハウスグループ投資事業有限責任組合）の概要

「“将来の夢”ファンド」は、大和ハウスグループの創業100周年となる2055年にありたい姿としてパーパスに掲げる「生きる喜びを、未来の景色に。」の実現に向け、社会にインパクトのある明日の社会に不可欠の（アスフカケツノ）事業に投資しています。

所在地	東京都千代田区飯田橋3丁目13-1
ファンド総額	300億円（キャピタルコール方式）
運用期間	2024年1月1日～2055年12月31日
運用会社	大和ハウスベンチャーズ株式会社
ホームページ	https://www.dhgfuturefund.co.jp/

■会社概要

１．大和ハウスベンチャーズ株式会社

会社名	大和ハウスベンチャーズ株式会社
本社所在地	東京都千代田区飯田橋3丁目13-1
代表者の役職・氏名	代表取締役　鈴木　哲雄
設立	2023年11月
主な事業内容	CVCファンドの運営、スタートアップ支援及び協業促進 上記活動と連携する事業開発の推進
ホームページ	https://www.daiwahouseventures.co.jp/

２．Boston Medical Sciences株式会社

会社名	Boston Medical Sciences株式会社
本社所在地	東京都中央区日本橋富沢町7-13 R.core日本橋人形町ビル 6階
代表者の役職・氏名	代表取締役CEO　岡本 将輝
設立	2023年4月
主な事業内容	非侵襲的大腸がんスクリーニングAIシステムの開発と臨床展開
ホームページ	https://b-ms.tech/

以　上

お問い合わせ先
大和ハウスベンチャーズ株式会社　０３（５２１４）２０２０